

中国
南西部山岳地帯におけるアグロフォレストリー事業
現地からのお便り

2016年10月

コンサベーション・インターナショナル

野菜と豆の干ばつ被害

今年の夏は、ガンブ村にとって非常に厳しい夏でした。雨量が極端に少なく、深刻な干ばつを引き起こしました。高齢者の多くが、今までに経験したことのない雨の少なさだと言うほどでした。ずいぶん久しぶりに雨乞いの儀式を行うことさえしましたが、干ばつにより、白菜などの収穫量が3割減少しました。デモサイトでは、果樹の成育や黒豆など一部の収穫量に影響が出ました。幸い、多くの他の農作物、特に最近ガンブ村で栽培を始めた赤インゲン豆やオクラは干ばつを乗り越えて収穫することができました。この夏の劇的な雨量の変化を通して、アグロフォレストリーシステムを利用して作物を多様化させる重要性が、我々だけでなく村人にとっても明らかになりました。気候変動に対応することができる可能性が高いからです。



赤インゲン豆と唐辛子 © CI/Fan Min



大豆の収穫 © CI/Fan Min



果樹の間に実っているオクラ



最近、整地されたところを耕す © CI/Wang Jin

家畜の飼育施設と浄化槽が完成しました

8月上旬、養豚場の三つの建物と、灌漑用タンク、浄化槽、納屋、冷蔵貯蔵庫が完成しました。二つの豚舎と納屋、冷蔵貯蔵庫は、プロジェクトへのマッチングとして提供されている政府からの資金で導入しました。さらに、豚の行動範囲を限定し、冬場のやぎによる被害を避け、太陽光発電による害虫駆除ランプを保護するために、デモンストレーションエリアのまわりに柵が張り巡らされました。



飼育施設 © CI/Fan Min

保護地域の補足契約についての議論

9月には、環境保全・森林局の職員、村の委員会のメンバーが、コミュニティ主導による森林保全について話し合うために集まりました。現状をふまえて検討し、保護地域をよりよく管理するために、昨年署名された保全契約に補足すべき点がいくつか挙げられました。ヤギによる食害や儀式の火によって起こり得る火事などの危機の管理、モニタリング、評価が条項として加えられました。決められたパトロールを全うした村人は、アグロフォレストリーシステムからの収入から、報奨を受けます。

コミュニケーション

プロジェクトサイトの様子だけでなく、周囲の生態系の様子も写真やビデオで撮影して、ニュースレターに活用します。土壌の状態や農業生態系については、SNSのCI中国公式アカウントから定期的に記事を公表しています。

今後の予定

冬季の果樹園の管理とモニタリングをします。具体的には、実に覆いをかける、根元の覆い、枝打ちエコフレンドリーな殺虫剤の製造、などです。家畜飼育を開始し、飼育方法とコンポストのトレーニングも行います。保全契約のモニタリングを行ない、アグロフォレストリーのデモサイトの管理を行い、他のアグロフォレストリーや植生回復サイトのスタディツアーを催行します。、エコフレンドリーな作物の販売方法についてのセミナーを開き、プロジェクトの記録やビデオ撮影も続けます。